

平成26年度全国高等学校総合体育大会 第64回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 実 施 要 項

主 催	公益財団法人全国高等学校体育連盟・公益財団法人日本スケート連盟・山形県・山形県教育委員会 山形市・山形市教育委員会
共 催	読売新聞社
後 援	文部科学省・公益財団法人日本体育協会・日本放送協会・公益財団法人山形県体育協会 公益財団法人山形市体育協会
主 管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部・山形県高等学校体育連盟・山形県スケート連盟
協 賛	カンコー学生服株式会社

1 会 期

開 始 式	平成27年 1月21日 (水)
競 技	平成27年 1月22日 (木)～25日 (日)

2 会 場

開 始 式	山形市民会館 大ホール (〒990-0039 山形市香澄町 2-9-45)
競 技	山形市総合スポーツセンタースケート場 (〒990-0075 山形市落合 1)

3 競技種別及び距離

種 別	距 離					
男 子	500m	1000m	1500m	5000m	10000m	2000mリレー
女 子	500m	1000m	1500m	3000m		2000mリレー

4 競技日程

22日 (木)	① 女子 500m 1回目 ③ 女子 500m 2回目	② 男子 500m 1回目 ④ 男子 500m 2回目	⑤ 男子 5000m
23日 (金)	① 女子 1000m	② 男子 1000m	③ 女子 3000m
24日 (土)	① 男子 10000m		
25日 (日)	① 男子 1500m ③ 男子 2000mリレー	② 女子 1500m ④ 女子 2000mリレー	

5 競技規程

平成26年度公益財団法人日本スケート連盟（以下「日本スケート連盟」という）競技規則・規定並びに本大会要項によるほか公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部（以下「スケート専門部」という）規定による。

6 競技方法

- (1) 男子、女子ともに各距離ダブルトラックで競技を行う。その競技場は、1周400mの標準トラック(Cタイプ)とする。
- (2) 男子、女子ともに1500m以上の距離は、カルテットスタートの競技方法を採用する。
- (3) グループ分けと組み合わせ

*文中の「タイムランキング」とは前年度及び当年度に開催された、国際競技会を含む日本スケート連盟公式競技会における当該距離の自己最高タイムランキング（平成25年度最高記録か今シーズンの締切日前日の12月25日までの最高記録）平成26年12月26日付日本スケート連盟発表のものを指す。

- ① 第1グループは、前年度本大会の当該距離8位以内の選手と、タイムランキング上位選手を加えた合計8名とし、それ以外の選手を第2グループとする。但し、第1グループの構成は、前年度の本大会の成績を優先させる。
- ② 第1グループの組み合わせ及びリレー競技の組み合わせは抽選による。第2グループの選手はタイムランキングにしたがい組み合わせられる。この時、同タイムランキングの選手及びタイムのない選手は抽選により組み合わせられる。また、同じ組に同一校の選手が入らないように調整する。但し、同カルテット内では調整しない。これらはスケート専門部及び実行委員会事務局により事前に抽選される。

- ③ スタート順は、タイムのない選手、次にタイムランキング下位の組から滑走し、最後に第1グループが滑走する。但し、スケート専門部及び実行委員会事務局が、気象状況を勘案し、暖気等で中断等が予想される場合や、明らかに公式記録上位の選手が不利な条件になると判断した場合は、第1グループから滑走させることができる。
- ④ 組み合わせ後に棄権者が出た場合には、第1グループ内で独走となった組のみの再編成とし、タイムランキングでは行わない。また、選手変更は、その種目開始1時間前までに行うことができる。補欠選手は当該校の選手の位置と入れ替わり、補欠選手の自己最高タイムに基づく再編成はしない。
- (4) 500mはインナーレーンスタート及びアウターレーンスタートの2回の合計タイムで順位を決定する。2回目に滑走できる選手は、男子女子ともにインナーレーンスタート12位まで、アウターレーンスタート12位までの選手と、それ以外のタイム上位者を加えた合計30名とする。30番目の選手が複数いる場合は、その選手を追加する。但し、2回目の組み合わせ後に棄権者が出た場合でも、繰り上げることはしない。
- (5) 各距離24位までと、リレー競技の12位までに各1点を与える。
- (6) 入賞はリレーを含む各距離8位までとし、得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点を与える。
- (7) 男女各総合（学校対抗）は、リレーを含む各距離の得点を学校別に合計し、その合計点により順位を決定する。但し、同点の場合は、総合6位以内に限り上位入賞の多い学校を上位とする。その決定は、より上位を有する数による。
- (8) 参加資格確認のため、当該校の申込責任者は（様式6）にバッジ認定証の写しを添付しなければならない。

7 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

【補足説明】

引率責任者は、当該校の教職員とする。ただし、やむを得ない事情により当該校の教職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の教職員が引率することができるが、その際には参加申し込みに委嘱状の写しを添付すること。監督・コーチは当該学校長の認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒で有ることとする。
- (3) 年齢は平成7年（1995）4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の生徒は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住などやむを得ない場合は各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高校連会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ①上記の（1）（2）に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定にしたがい大会参加を認める。
 - ②上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 学校教育法72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。 2 以下の条件を具備すること。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 大会参加を認める条件 <ul style="list-style-type: none"> ①本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。 ②参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信連携校の生徒による混成は認めない。 ③各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。 ④各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。 (2) 大会参加に際し守るべき条件 <ul style="list-style-type: none"> ①大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。 ②大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。 ③大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。 |
|--|

9 参加制限

- (1) 出場は1校1距離2名以内とし、補欠は1名とする。また個人の出場制限は2距離以内(リレーを除く)とし、補欠も1距離とみなす。
- (2) リレーは登録6名以内とし、出場者はそのうち4名とする。
- (3) 申し込み選手のほか、男女別に監督1名とする。コーチは1名以内とする。
- (4) 各都道府県スケート連盟を通じて日本スケート連盟に登録された者であり、スピードスケートバッジテスト及びショートトラックバッジテストC級以上の資格取得者であること。

10 表彰

- (1) 男女別に総合(学校対抗)6位までに賞状、優勝校には(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本スケート連盟会長杯(以上持ち回り)、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
- (2) 男女別に各距離8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

11 参加申込

※個人情報の取り扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用されることはありません。(詳しくは大会ホームページの「個人情報取扱」を参照して下さい)。

(1) 申込期限

- ① 原本の送付については平成26年12月26日(金)消印有効
- ② データ送信については平成26年12月26日(金)正午必着

(2) 申込先

〒990-2412

山形市松山2-11-30(山形県スポーツ会館内)山形県高等学校体育連盟
平成26年度全国高等学校総合体育大会
第64回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会実行委員会事務局宛
TEL 023 - 674 - 6665
FAX 023 - 634 - 6752
メールアドレス ih-skate-yamagata2015@yamagata-koutairen.jp

(3) 申込方法

- ① 各都道府県申込責任者は参加校の関係書類(様式4~様式8の必要な書類)を確認の上、大会ホームページ(<http://www.64skate-yamagata.jp>)より書類(様式1~様式3・選手団連絡票)をダウンロードして下記の書類を作成し、所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。同時に入力済み書類(様式1~3・選手団連絡票)のエクセルファイルを電子メールにて添付送信すること。

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ア 様式1 申込送付書類及び送金確認書 | 郵送及びデータ送信 |
| イ 様式2 都道府県選手団申込一覧表 | 郵送及びデータ送信 |
| ウ 様式3 役員・視察員宿泊申込書 | 郵送及びデータ送信 |
| エ 選手団連絡票(各県選手団決意表明は開始式で読み上げます) | 郵送及びデータ送信 |

- ② 各参加校は大会ホームページ(<http://www.64skate-yamagata.jp>)より各申込用ファイル(学校別申込用)をダウンロードして必要な書類を作成し、各都道府県申込責任者に提出すること。同時に各参加校は、各申込用ファイル(学校別申込用)及びプログラム掲載用写真を郵送又は電子メールにて添付送信すること。

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| ア 様式4 学校別申込ファイル | 郵送及びデータ送信 |
| イ 様式5 スピード競技出場者申込書(男・女) | 郵送及びデータ送信 |
| ウ 様式6 スピード競技バッジテスト取得級貼付用紙 | 郵送 |
| エ 様式7 スピード競技最高記録更新・最高記録訂正届出書 | FAX |
| オ 様式8 スピード競技宿泊申込書 | 郵送及びデータ送信
(配宿センターへもFAX) |
- *プログラム掲載用写真(チーム写真) 郵送又はデータ送信

- ③ 各参加校は、日本スケート連盟国内競技会オンライン大会申込サイト(<http://skatingjapan.jp/myac/>)から参加選手の登録番号・パスワード(日本スケート連盟登録者へは葉書で通知済み)を入力し大会名(平成26年度全国高等学校総合体育大会 第64回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会)を選択。出場種目等を入力する。オンラインシステムへの入力については、12月26日正午で終了しその後の入力はできない。なお、参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し、参加申込完了直後にサイトから自動送信される参加申込受理通知(以下「受理通知」という。)を受け取ること。この場合、受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため監督会議が終了するまで保存しておくこと。また、このシステムを利用し、組合せの基準となるタイムランキングのリストを作成するため、補欠としてのみ参加する選手及びリレーのみに参加する選手の入力の必要はない。(補欠、リレー参加者は様式5から事務局で確認する)

④ 「最高記録更新届書」について

12月21日以降、12月25日までに開催された公式競技会で、出場予定の種目の最高記録が更新された場合のみ「様式7」に必要事項を記入し、平成26年12月26日(金)正午までに実行委員会事務局宛に必ずFAXで送信すること。

⑤ 「タイムランキング」について

データの締め切り後、各距離のタイムランキングを実行委員会のホームページに掲載する。各校記載責任者は、期間中(12月29日~1月4日)に最高タイムを確認し、ランキングのタイムに訂正がある場合は、様式7を組合せ抽選会議前日(1月4日)までにFAXで送信すること。なお、期限までに訂正申込がされない場合その後の変更は認めない。

⑥参加校は、宿泊申込書（様式8）を「配宿センター」宛にもFAXで送信すること。

⑦参加料、プログラム代金及び大会報告書代金の送金は、実行委員会事務局が指定した銀行口座に振り込むこと（振込手数料は申込者負担）銀行で発行された振込金受領書のコピーを（様式4）の裏面に必ず貼付すること。また、送金依頼者名は専門部を設置する都道府県については**都道府県名がわかるように**、それ以外については**県名及び学校名がわかるよう（個人名にしない）**にすること。なお、実行委員会事務局からは、各参加校に参加料・プログラム代金等の領収書は発行しない。

⑧参加書類の送付は、発送記録が残る方法（書留等）で行うこと。

⑨参加期限に遅れたもの、参加書類に不備のあるものは受け付けない。

(4) 参加料について

1名1距離ごとに3,500円（リレーはチームで3,500円）但し、補欠参加の選手の参加料は徴収しない。

(5) 振込先

指定銀行	山形銀行	寿町支店
預金口座	店番121	(普通) 口座番号 538841
名義人	64回全国高校スピードスケート競技選手権大会 山形県実行委員会 会長 奥山 雅信 (ロクジュウヨンカイゼンコウコウスピートスケートキョウサキセンシユケンタクイ ヤマガタケンジツコウイイノカイ カイショウ オヤマ マサノブ)	

(6) プログラム

参加校に1部無償配布する。その他は1部1,500円で販売する。代金は参加申し込みと同時に納入すること。

(7) 大会報告書

競技成績が掲載されている大会報告書を購入希望する学校は、参加申し込みと同時に申し込むこと。

1部2,000円（送料含む）の代金は申し込みと同時に納入すること。

12 宿 泊

(1) 宿泊申込みについては、「実行委員会事務局」へは郵送及びデータ送信。「山形県実行委員会配宿センター」へは宿泊申込書(様式8)を必ずFAXにより送信すること。

(2) 詳細については、宿泊要項による。

13 輸 送

輸送については輸送要項による。

14 医療救護

医療救護については、医療救護要項による。

15 式典及び諸会議

	日 時	会 場
抽選会議	1月5日(月)13時00分	山形県実行委員会事務局
監督会議	1月21日(水)10時00分	山形市総合スポーツセンター大会議室
開 始 式	1月21日(水)14時00分	山形市民会館 大ホール
閉 会 式	1月25日(日) 競技終了後	山形市総合スポーツセンタースケート場

16 留意事項

(1) 出場者は、必ずバッジテスト認定証を持参しなければならない。

(2) 諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨を電子メール又はFAXで実行委員会事務局に連絡すること。

(3) 公式練習の時間は大会事務局で割り当てる。

(4) 貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

17 実行委員会事務局

〒990-2412

山形市松山2-11-30（山形県スポーツ会館内）山形県高等学校体育連盟

平成26年度全国高等学校総合体育大会

第64回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会実行委員会事務局宛

TEL 023 - 674 - 6665

FAX 023 - 634 - 6752

メールアドレス ih-skate-yamagata2015@yamagata-koutairen.jp

*大会期間中の連絡先については決定次第、山形県実行委員会大会HPに掲載します。

18 その他

大会に関する事項、競技に関する連絡事項等は大会ホームページを利用してください。